

鍼灸マッサージ治療を健康保険で受診できるよう

医療を考える会

住所:渋谷区代々木 2-39-7 メゾン代々木 201 号

TEL:03-3375-6151 / FAX 03-3299-5275

メールアドレス : iryo-kangaeru@waltz.ocn.ne.jp

発行元 : NPO 法人医療を考える会

東洋医療を活かした健康づくり第 15 回

「原発・放射能をめぐる講演会」の報告

第 15 回講演会が下記の内容で開催されましたので報告致します。

日時:2011年6月19日(日) PM1時半～4時半 場所:代々木上原社教館

直前に、第一部で講演を予定されていた NPO 会員の坂口さんが入院される事態となった為、急遽内容を変更して実施しました。参加者には御迷惑をおかけしましたが、変化対応力を養うよい機会と前向きに捉えたいと考えます。坂口さんには回復をお祈りすると同時に別の機会にお話頂ければと考えております。進行は山西が務めました。



13:35～13:50 高橋(社)鍼灸マッサージ師会代表理事挨拶と福島原発事故について元原発労働者の告発分の紹介

13:50～14:50 第一部 DVD 放映

①インタビュー「福島原発で何が起きているのか」

小出裕章 京都大学原子炉実験所助教

②インタビュー「放射能・子供の被爆と労働者の被爆」

村田三郎 阪南中央病院副院長(内科医)

14:50～15:00 休憩

15:00～16:00 第二部「放射能から身を守る・食物と生活」講師 田中榮子 NPO 理事

16:00～16:30 質疑応答

17:00～18:30 第三部 懇親会と反省会

参加者は 12 名と予定を下回りましたが、私達庶民が日常知らされていない原発事故の生情報に接することができ、内容の濃い講演会の実績を積むことが出来たと思います。

限定された地域、町内会での開催と比較して、休日に都心へ足を運んで頂く労を考えると、やむをえない点があったのではないかと考える反面、周囲の患者さん、知人の方々に対して、役員から講演会の働きかけが不足したことは、率直に反省して今後に生かしたいと思います。千葉県から参加して下さった若い鍼灸医の方は初めての出席だったそうですが、今後も機会があれば参加したいとの意見を述べてくださいました。今後の施術の上で一つの糧になれば嬉しく思います。

第一部の小出先生のインタビューでのお話では、まず先生の真摯な人柄と研究姿勢に、科学者としての良心を感じました。日本はこの様な原子力行政に異を唱える先生を助教に隔離しておくような村社会であり、強い不条理と憤りを感じました。既に法令の濃度限度の 700 倍の放射能汚染水が海中に投棄されており、魚よりも海草は逃げられないので汚染度は深刻だと話されていました。破局に至らないことを祈っているが、来ても不思議ではない。ご自身が恐れている最悪のシナリオは、チェルノブイリ事故に匹敵するか 10 倍の事故につながるかとまで話されていました。さらに原子力を止められなかった責任は私にある、日本人であれば全員に責任があると話されていたのが印象的でした。今も原子炉から放射能物質は漏れ続けているし、汚染水の処理も進んでいないといいます。一体これから解決する術はあるのでしょうか？私見では西洋医療の対

症療法ではなく、東洋医療の根本治療、即ち脱原発しかないのではないのでしょうか？DVD を見終えた直後は、会場はシーンとして、誰もがショックを受けました。



第二部の田中 NPO 理事は放射能と食物の関連について、各種の資料を用意されて懇切丁寧に説明をしてくださいました。特に印象に残ったのは、放射能汚染対策として、体内に侵入した放射性物質の影響を最小限にするには、代謝を高めておくことが重要であり、代謝が活発であれば、放射性物質も主に尿や便とともにスムーズに排泄され、一部は汗や唾液に混じって排泄される。しかし、排泄されるまでの間、体中を循環して各部分で障害を発生させる。その放射能障害を防ぐには、炭素やナトリウムなどの陽性元素を優位にしておくことが必要で、穀類、海草、味噌、醤油、梅干しなどを主に摂ることだとの部分でした。これこそ東洋医療により体の活性化を図り免疫を高めることが関係してきます。また、講演の中で、政府の、住民の避難への対策が遅かったのに、許す基準の変更は早かったと批判されていたのが心に残りました。

大変貴重な資料と講演会の内容で真実を知ることができ原子力エネルギー行政への見方を学習できたのは大きな収穫です。

アンケートより

*食のことをゆっくりていねいに聞きたいと思いました。とても参考になりました。

* 小出氏の DVD は衝撃的でした。破局的事態が起らないことを祈るだけです。

* 「原発事故は麻薬と同じだ！」脳梗塞の後遺症で頑張っている私の患者さんの言葉です。まずヤメる、それから人知で結論を出せば良いのです。その感を強くさせたセミナーでした。又、行なって下さい。

* 福島原発事故についての真相を知ることができたのは有意義だった。予想外の深刻さに言葉がなかった。外国人が事故後日本からいち早く離れる行動を取った事、原発輸出国のフランスから派遣されたパーティが全員三沢の米軍基地に逃げ込んだ事をバカにしていたが、逆に日本人こそ原発の安全神話に騙されてきた愚か者だったと思いき知らされ愕然としている。今日の講演内容をぜひ周囲に知らしめたい。



NPO医療を考える会

第7回定期総会

11月20日(日)午後開催予定

(場所未定)

6月19日講演会の感想

森 みさほ (NPO 会員)

六月十九日 代々木上原の社教会館へ原子力に関する話を聞きに行った。集まった人数は多くはなかったが、皆熱心にDVDの映像に見入った。

京都大学原子炉実験所の助教授をしていながら原子力に反対されている小出裕章先生の話だ。私は一生懸命話を聞いたのですが、思い違いや感違いをしている部分があるかもしれない。原子炉は安全ではないこと、人類が使ってはいけないエネルギーで放射線は少しなら良いという線は引けない事、体内に蓄積していくものだからです。原子炉で働く人達を被爆させている。

特に私の印象に残った話は被害を受けた農産物を「産地を明記して市場に出したら」という話で、生産者の気持ちに配慮された言葉と思えました。高齢者は放射線の感受性が低いとも言われ、私は高齢者なので(食べても)いいかな。子供は守らなければいけません、と言われ、今度水素爆発が起ったら「逃げる」という心の準備も必要ですと。

多くの人にこのビデオ(DVD)を見てもらいたい。休憩後田中先生に依る「食事で放射線から身を守る」という貴重な情報をいただいた。放射線は体を冷やすので、玄米、海草、みそ汁、根菜、塩分がおすすめでとの事、食養の陰陽表を参考に日々の食卓にとり入れていこうと思う。最後に、「原発の現場」を書かれた平井憲夫氏の十頁程の文章ですが、知らないで済ませてきた結果が今の状態を招いたのかと恐ろしく思え、是非このコピーも多くの人に読んで欲しいと思います。

東日本大震災被災者への

鍼灸マッサージ治療

ボランティアを行なって

武井 百代(理事、施術師)

始まりは昨年秋に関西の F 先生が H21 年度の兵庫県佐用町の災害時に避難者の方に数ヶ月に渡りボランティア治療を行った講演を聞いた。災害時は医師が中心の印象が強かったのでとても面白く強い感銘を受けた。F 先生と話を沢山し、機会あればぜひ一緒に活動したいとせがみ、ではそのときは君が関東支部だと笑っていらした。皮肉なことに今年 3 月に先生は癌のため一切の活動ができないと知らせを受けた。そのようなときにユニックストラベル社を知った。旅行会社である同社は被災地を支援するために格安のボランティア企画旅行を考えていた。私は鍼灸マッサージの効果について説明したところ非常に喜んで共感していただき被災者の方がいる避難所と治療ボランティアをつないでくれた。

4 月に岩手県岩泉町、田野畑村、6 月に福島県大熊町の方が避難する北塩原村ホテル、7 月に宮城県女川町の方が避難する秋田県田沢湖ホテルに赴いた。正直行くまでは役に立てるのか必要としていただけなのか不安ではあった。しかし、結果として各地で被災者の 8 割以上の方が鍼灸マッサージ治療を受けてくれた。

津波被害、原発避難と事情は様々であったが家、仕事、日常果ては家族を失った方の思いは身体に如実に現れていた。不眠や頸肩の重みの訴えが非常に多く、ホテルに

避難している方も震災当初から 1 ヶ月以上寒い体育館で生活していた為、冷えからの腰痛や五十肩、頸椎症状に悩まされる方が沢山いらっしやった。持病（リウマチ）があってこれまで1時間で行けていた病院が3時間かけて通っているという方、着の身着のまま避難し支援物資の下着のサイズが合わないため腰痛が出やすくなった方、ヘルニアの手術後軽い運動で維持していたが環境が変わって運動の調節がうまくいかず膝を痛めてしまった方など生活において日常が壊れるということの重大さを痛感した。



4 月の田野畑村訪問で全て流されたと言っていた高齢の女性が治療を受けた翌日震災後こんなにゆっくり眠れたのは初めてだと話してくれた。本当に嬉しかった。

6 月の大熊町の方は家に戻れなくとも（台所などの腐敗が物凄そう）強く生きていかなければいけないと話してくれた。7 月の女川町避難者の方は津波で流された後4日間物資が届かなかったので自力で缶詰など食べられるものを1日10キロ以上歩いて探して凌いでから足腰が痛くてたまらないなにをやっても効かないといった方に灸と鍼がとても効いてこれから仮設に移ってまた頑張れるととても喜んでくれた。

仮設住宅は暑いしハエや悪臭もひどい

とのことで扇風機とはえとり紙が足りないとおっしゃっていました。マッサージ治療が被災者の方を少し元気にする事ができた。

日常が戻るまでは遠い道だが出来る限り続けていきたい活動である。協力者の方全員に深く感謝します。



～東京民主医療機関連合会との

懇親会のお知らせ～

田中理事が、「鍼灸・マッサージ受療時の改善についてのお願い」の文書で、患者が東洋医療を受けたくても、健康保険では多くの制約があり、希望するようにはかかれない、まず健康保険でかかる場合、医師の同意書が必要になっている、最近はこの同意書を書いてくれない医師が増えており、患者、施術者も困っているので、懇親の場を作って頂き困難な実情を話さして頂きたい、私達は民医連の皆様にも学び、社会貢献を続けて行きたいと願っている旨の申し入れを行なった処、北村副事務局長から快諾の連絡が入りました。みなさまのご参加を呼びかけます。ご参加の方は事前に事務局山口までご連絡下さい

開催日時：

2011年9月26日(月)PM2時

場所：

東京民医連事務所(山手線大塚駅近く)

集合時間と場所：

9月26日(月)PM1:45

大塚駅改札口前

***健康保険制度改善へ

パンフレット作成***

漢方、鍼灸、按摩、指圧などの伝統医療を健康保険で、受診できるように健康保険制度改善について、理解を広げるためのパンフレット作成を共同ですすめる呼びかけが、一般社団法人鍼灸マッサージ師会からありました。NPO医療を考える会と一般社団法人鍼灸マッサージ師会が共同でパンフレット作成の編集委員をつくり、会員みなさんより参加者を募集しています。

兵庫県保険鍼灸師会などから100万署名実行委員会設立の呼びかけもなされていますので、健康保険改善のこの運動を進めるためにも、制度改善について広く国民の理解を得ることのできるパンフレットが必要です。健康保険について患者さんからみてどんな問題があるのか、どのような改善が望まれるのか、また、伝統医療にはどのような効果や利点があるかなど、みなさまの声を集めてパンフレットをつくりあげたいと思います。

編集委員会では、懇談し勉強しながら、パンフレットの作成をすすめますので、お気軽にみなさまの参加をお願いいたします。編集委員会に参加できる方は、NPO医療を考える会理事または事務局までご連絡下さい。

編集委員会

8月30日 11時30分～1時30分

会場 池袋東口

椿屋珈琲店 池袋茶寮 (03-5949-3133)

下高井戸シネマで最後の上映です

「ミツバチの羽音と地球の回転」（未来のエネルギーをどうする

のか？） 2010年/日本/2h15/プロジェクター上映 監督：鎌仲ひとみ

きれいな海を守りたいと、28年間も原発建設計画に反対してきた瀬戸内海の小さな島、祝島。自然エネルギーへシフトし、持続可能な社会づくりを進めるスウェーデン。ふたつの地域の暮らしから、日本のエネルギー政策を見直し、未来のエネルギーを考えるドキュメンタリー。

8/27(土)・8/28(日) アフタヌーン PM1:00～(終 3:15)予告なし

【8/28(日)上映前に鎌仲ひとみ監督によるトーク開催！】

(PM1:00 より 30 分間を予定・この日のみ 3:45 終映)

8/29(月)～9/2(金) アフタヌーン PM1:25～(終 3:40) 予告なし



下高井戸駅下車 2 分

■新宿方面、調布／八王子方面から

→京王線下高井戸駅下車(各停／快速のみ停車)

■渋谷方面、吉祥寺方面から

→井の頭線明大前駅で京王線(八王子方面行き)に

乗り換え、

1 つ目の下高井戸駅下車(各停／快速のみ停車)

(映画館以外では、いろいろな地域や団体が自主上映をやっています。インターネットで調べて下さい。またはグループ現代 (03-3341-2863) へお尋ねください。)

会費納入のお願い

平成 23 年 8 月 24 日

NPO 法人「医療を考える会」

代表 相葉 計佳

会員の皆様

皆様には、日頃 NPO 法人「医療を考える会」の活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

NPO の今年度の活動もそろそろ終わりにさしかかろうとしています。つきましては、9 月末までに来年度（平成 23 年 10 月～平成 24 年 9 月）の会費をご納入いただきたくご連絡申し上げます。尚、別紙にて会費納入状況をお知らせいたします（未納の方）。

お支払についてゆき違いがありましたら申し訳ありません。その際はお知らせ下さい。

また、日ごろ NPO からお送りしている郵便物の宛先などに誤りがありましたら、合わせてご連絡下さいますようお願いいたします。

平成 23 年度会費 **正会員（総会での議決権がある会員）** **2000 円**
賛助会員（議決権がない会員） **1000 円**

なお、まだ登録をされていない方は、この際ぜひどちらかの会員登録をしていただき、ともに活動する仲間となっていただければと思います。

～会費の支払い方法は以下の中から選択してください。～

① 現金払い…お近くの施術師の方か下記事務局に直接お支払い下さい。

領収書は施術者からお受け取り下さい。

② ゆうちょ銀行「ぱ・る・る口座」または、「振替口座」への払い込み

いずれも払い込み表をもって領収書とさせていただきます。

金融機関	口座名		払い込み方法	手数料	払込先
ゆうちょ銀行	ぱるる	ゆうちょ銀行の口座をお持ちの方	ATM	無料	ゆうちょ銀行(ぱるる) [記号]10070 [番号]96038771 [名称] 特定非営利活動法人 医療を考える会
		ゆうちょ銀行の口座をお持ちでない方	窓口	140 円 525 円	
ゆうちょ銀行	振替		ATM	80 円	同封の「払込取扱票」でお支払い下さい ゆうちょ銀行 振替口座 [記号番号]00110-9-429305 [名称]NPO法人 医療を考える会
			窓口	120 円	

NPO 法人医療を考える会 事務局

〒151-0053 渋谷区代々木 2-39-7 メゾン代々木 201 号

電話 03-3375-6151 F A X 03-3299-5275